



TSUTSUMU: The Origin of Japanese Packaging

M Meguro Museum of Art, Tokyo

目黒区美術館



包む — 日本の伝統パッケージ

7/13 tue -
9/5 sun, 2021

2021年7月13日[火]—9月5日[日]

午前10時—午後6時(入館は午後5時30分まで)

月曜休館(ただし8月9日[月休]は開館、8月10日[火]は休館)

一般800(600)円、大高生・65歳以上600(500)円

中学生以下無料

・障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

・目黒区在住、在勤、在学の方は

受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります

(他の割引と併用はできません)

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

企画協力：吉田知哉(株式会社コンセント)、佐賀一郎(多摩美術大学)

グラフィックデザイン：大西隆介(direction Q)

新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、
展示会の会期等が変更になる可能性があります。ご来館時の注意事項等も含め、
開館状況を当館ホームページ等でご確認のうえご来館ください。

《お問い合わせ》

目黒区美術館 〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

Tel. 03-3714-1201 <https://www.mmat.jp>

●《卵つと》山形県 撮影：酒井道一



TSUTSUMU: The Origin of Japanese Packaging 7/13 tue - 9/5 sun, 2021

包む—日本の伝統パッケージ

岡秀行さん(1905-1995)は、戦前からアートディレクターとして活躍する一方で、自然の素材が生かされたパッケージに魅了され、収集・研究を始めました。葉の苞(つと)の素朴な美しさや、すし桶や菓子箱の職人技の伝統美に、日本人ならではの「美意識」と「心」を見だし、「日本の伝統パッケージ」と名付け、写真集『日本の伝統パッケージ』(1965年、美術出版社)、『包』(1972年、毎日新聞社)の出版や展示会を通して、高度経済成長期の日本において消えつつある技術や美があることの啓蒙につとめました。

その後、岡さんのコレクションは世界巡回展へと発展し、「TSUTSUMU」(包む)という言葉とともに大きな反響を呼びます。そして、このコレクションを日本の美術館で初めて本格的に紹介したのは、1988年に当館が開催した展示会でした。それを機に当館は出品されたパッケージ群を譲り受け、「包む」コレクションとして収蔵しています。本展は、2011年にその全容を紹介する展示会を開催して以来、10年ぶりの展覧です。

今、私たちは新型コロナウイルスの渦中にいます。新しい生活様式で暮らす中、身近なものへの関心や大切な人への想いなどが変化したように感じている方は多いのではないのでしょうか。本展で展示するパッケージは、製造されてから30年以上が経ち、自然素材ゆえの色褪せや割れといった経年変化が見られます。しかしこの度の展示で、パッケージに向けられた岡さんのまなざしと、「包む」ことに込められた日本人の心や手わざの美を見つめることは、私たちの生活を考える良い機会と言えるのかもしれません。

【同時開催】ワークショップ2021夏「つつむ」

会期中、本展とゆるやかに関連するワークショップを開催します。詳細は当館ホームページでご確認ください。

<https://www.mmat.jp>

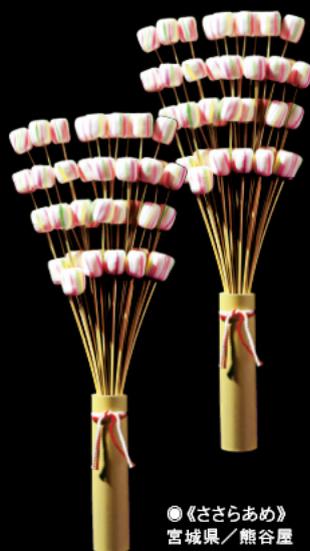
◎掲載写真は参考写真です。岡秀行氏著『包』(1972年、毎日新聞社)所収・酒井進一氏撮影の写真を使用しています。実際の展示品とは異なる場合があります。
◎展示品は1988年に収集したパッケージで、すでに30年以上経過した状態のものが多いです。一部、2011年に収集したものを展示する場合があります。自然素材の為、入手困難・不可能なものは参考写真パネルでの紹介となります。



◎《おひねり》



◎《真盛豆(利休井筒)》京都府/金谷正廣



◎《ささらあめ》宮城県/熊谷屋



◎《卵つと》山形県



◎《濱焼桜鯛》岡山県/株式会社鯛物



◎《岡山獅子》岡山県/中尾正栄堂



◎《釣瓶鮓》奈良県/釣瓶鮓弥助



◎《鬼づら》香川県



◎《澤之鶴》兵庫県/沢の鶴株式会社



《アクセス》

●JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩10分 ●東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分 ●東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分

※目黒区民センター隣接 ※当館には来館者専用の駐車場はありませんので、電車・バスなど他の交通機関をご利用ください。※お車で越しの場合は隣接の目黒区民センターの駐車場(有料)をご利用ください。

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 Tel. 03-3714-1201 Fax. 03-3715-9328 www.mmat.jp

包むことについて考えるのは、人間の生活のすべてについて考えることに他ならない

—岡秀行「包装の原点」(『包』1972年、毎日新聞社)

《メルマガ会員募集中》

<https://service.sugumail.com/mmat/>

目黒区美術館

Meguro Museum of Art, Tokyo